

『一心千里』

永田 隆一

走って見えてくる



第107回

大学生を相手に講演を頼まれることがありま

す。筆者はその際、情緒的な感動や希望をいたすに提供することはありませんが、冷徹なデータに基づいた事実を話します。そのうえで、自分の夢を叶えるためのヒントを提供いたします。

「皆さんは確率や統計を理解されていると思います。サイコロを振って、1の目が出る確率は6分の1です。2回続けて1の目が出る確率は36分の1です。そして、1の目が連続して5回出る確率は7776分の1。統計

仕事の量が著しく増加しています。地方公務員は274万人ですが、人口減少と企業撤退で、早期退職制度というリストラに踏み切った地方自治体が増加しています。」

的には、実現しない確率です。」
「皆さんはこの会社の将来は明るくありません。」

若者よ 夢のためにドアを叩け

学生たちに 永田が話す時

に就職したい。こういう上司の下で、こういう職種について、このへらの給料をもらって、この場所に住みたい」と考えられているが、5つの希望がすべて叶うことはサイコロを応用して、少し乱暴な言い方ですが、無理です。」

「日本の自動車産業は安泰でしょうか。しかし、

「企業の時価総額です。日本のトップ3は、トヨタ自動車23兆円、NTT

ドコモ10兆円、NTT10兆円。米国は、アップル104兆円、アマゾン94兆円、グーグル90兆円。中国は、アリババ55兆円、 Tencent 52兆円、中国工商银行32兆円。他の国では新興企業の成長が高

く経済を引っ張っていますが、日本ではレガシー企業が国の経済を支えています。」

「人工知能の活用、情報」

「最低賃金です。日本848円。スイス2587円。アンマーク1913円。イギリス1678円。ニューヨーク・カリフォルニア州1678円。ドイツ1479円。この現実の理由を皆様が自分の頭で考えてみて下さい。」

「日本の民間企業は420万社あります。かつて誰かが仲間と起業しました。どの会社でもそうなのですが、創業15年はワンマン経営のフラック企業です。その後の15年は、会社組織で経営を維持していくための試行錯誤が続く混沌期です。30年を過ぎれば組織システムで運営されるようになりますが、決して完璧ではありません。」

「大切なことは、完璧で正しい企業はないと腹を括めることです。企業は、利益を上げて経営を継続することを目指して行きます。事業撤退に伴うリストラも正しい決断です。名立たる老舗企業の会計操作、検査・品質評価のコンプライアンス違反も出てくるでしょう。なぜなら、完璧でない経営陣や上司と、完璧でない会社システムがなくなることはないからです。」

「皆さんも企業という組織の中で「これはおかしい」と思うことが出

「皆さんは、完璧で正しい企業はないと腹を括めることになりませんか。自分や家族の生活を守るという目的のための悪い判断でありませぬ。皆さんに永田は「とにかく上手くやってください」としかコメントできません。」

「皆さんも企業という組織の中で「これはおかしい」と思うことが出